

ITが関わらない仕事は存在しない今の時代。顧客の90%以上が日系企業で、絶大な信頼と確かなサービスを提供している「上海菱威深信息技術有限公司」。「時代の変化と共に会社が柔軟に変わることが大切」と語る董事・総経理の牧野氏に、ITと別事業を掛け合わせた、新たなサービスについてお話を伺った。

プロフィール Kunitsugu Makino

1967年生まれ、東京都出身。東京大学工学部計数工学科卒業。1992年に三菱商事に入社、アメリカへ赴任しシリコンバレー支店、インドのタタコンサルタンシーサービシズ、日本のローソンでの勤務を経験。2021年から中国へ赴任し、総経理として着任。現在に至る。

浦東新区峨山路91弄100号 陸家嘴軟件園2号楼906室 400-920-1130 www.ivision-china.cn ivision@ivision-china.cn 上海菱威深信息技術有限公司 董事·総経理

牧野 国嗣氏

真のニーズに応えるため IT技術を組合せて 新たなサービスを展開

iVision設立20周年記念行事



iVisionは昨年、設立20周年を迎えました。 社員、OB/OG、株主を招いて記念イベント を開催し、次の10年に向けたスローガンを 発表しました。これからも上海を拠点に日系 企業のIT支援を強化していきます。

VAIO安曇野工場訪問



VAIOパソコンの聖地、VAIO安曇野本社を 社員と一緒に訪問しました。日本アルプスの ふもとで山々の景色を楽しめる風光明媚な 場所に社屋と工場があります。ここで仕事を する人が羨ましい!

テニスでリフレッシュ



週末のテニスでは「がちょうテニスクラブ」 からGRIDという上海地域のサークル対抗 戦に出場して若者に交じって試合していま す。真剣勝負のあとのビールが目当てです

iVision上海自2003年成立以来,已 为700多家客户提供IT解决方案, 传承 过往20年间累积的iVision独创性和价值 观,紧跟时代的脚步不断精进自身,时 刻怀揣着探索精神, 在日新月异革新的 IT行业里,以我们团队的凝聚力、技术 能力和挑战精神超越客户的期待,一同 共创未来!

野さ

を

さらに

知

る

iVision





ホームページ

セミナー申込み

8月30日(金)に「VAIO製品と最新 AI技術を活用したWorkStyleの変

革セミナー」がVAIO Corporation で共催開催を予定しています。ご興 味のある方は上記のQRコードより お申込みください

苦しい今だからこそ、戦する日系企業同士で、ベースにしたクローで、 また中国市場を理解しようというコンセ 日系企業に勤める社員のみが利用可能で、 こうした問題をI で、 る日系企業同士で商品を出 般的なECモー お 互 いに買 41 し合

真のニーズに応える、 新規事業部立上げ

か 10 力量第十振等、始性領先于時代構設 がいは細部に称り、常に時代の一多先へ

サービスなどを、中国の日系企業様へ守などのITシステムの開発や運用の導入、システム基盤・ネットワーク システム受託開発・パッケージ、域におけるコンサルティングサたなニーズを捉えた事業として、 は中国に進出する三菱グルー その後は次の時代に向けて新 ビス支援を目的として設立 、中国の日系企業様へ向いステムの開発や運用のム基盤・ネットワーク保 限公司 ージシステム (iVision

新たに業界やソリューションを組合せた、新たに業界やソリューションを組合せた、いくつかの試みを開始しました。 上げて、「IT×●●」というテーマで要だと考え、今年から新規事業部を立ち新たな事業を一緒に作っていくことが必顧客の真のニーズに応えるために顧客の り、その変化に企業も柔軟に対応するこ中国の事業環境は常に変化を続けておけて提供しています。 とが求められています。 さらにい えば、

は中国市場で大変苦戦を強いられていさまざまな状況の中で、日系メーカー近年では、景気状況、日中関係など と感じています。 ローズドECサ その第一弾が、 ービス「CrewMart」です。 ービス「CrewMart」です。 いられている・・関係などの

ローズドモールです。苦ートさせたのが、社販ををITの力で少しでも解 支え、

スできる他、出展メーカーは価格崩れの入できる他、出展メーカーは価格崩れの心配なく余剰在庫や新商品のテスト販売などを行うことができるのでは、と仮説感をもって取り組んでいます。まずは弊感をもって取り組んでいます。まずは弊感をもって取り組んでいました。非常にに初回の実証実験を行いました。非常にに初回の実証実験を行いました。非常にも夏と冬に同様の実証実験を中国のさ年も夏と冬に同様の実証実験を中国のさ メーカー まざまな都市で行う予定です。 様製品のみを扱って います

法人向け Ö PC)販売

ンの販売を始めました。 弊社が扱って 2 0 2 3 として「V Á I 41 0 る法人 の 中 法 国 向 人法 H 向人 け向 ソ パけ J ソ代

コ理

店

のづくりと弊社のサポクを徹底しています。げを行い、約50項目に で開発し、 という商品理念のもと、日本は、「カッコイイ」「カシコイ」 低しています。高品質な日本のもい、約50項目にも及ぶ品質チェッン、専任の技術者が一台ずつ仕る。 中間 のもと しょ しょ はい いんしょ しょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう 「ホンモ

聞き取りやすく調問がうるさい中 も、VAIO全モデュをでする。 い機能です $\widehat{\widehat{A}}_{\stackrel{}{I}}$ 仕掛けをいろいろ搭載して つが周囲の雑音をカットする人工 ノイズキャンセリング機能です。 く調整してくれるとても腎の声と騒音とを聞き分け、い中でのオンライン会議で 搭載しています。 ζテルには快適で便間ートワーク環境向は 付けに 一知能 そ の

ブロンズも意外に人気の色他社の商品にはなかなか 」です。 な 法人向 バ

VAIO PC、炭素排出量の把握システムなど、さまざまな商品を扱っています。近い将来、「御社は何の仕事をしていす。近い将来、「御社は何の仕事をしていた。しかしながら、こうした多種に渡るからの中国で生き残っていくのではないからの中国で生き残っていくのではないからの中国で生き残っていくのではないでしょうか。これからは、ITベンダーでしょうか。これからは、ITベンダー からの脱却を図りつつ、変でしょうか。これからは、からの中国で生まれ テムなど、さまざまな商品を扱って が、期待以上のサービスを提供でき な、期待以上のサービスを提供でき な、期待以上のサービスを提供でき な、期待以上のサービスを提供でき ビス 客様と共に推進していきたいです。 China to Japan、China to Global を提供していますが、 在 は I T ベンダ 新たな取組みを推 としてI 変化の激し 今 後は 今年 れるよ 、 年から ときる会 皆様 を サ うか

す。また、重さは1.kg~9.9 を採用してくれた企業もあいた品位の高さをご実感いただくことで、よれのの自(ファイ)

してくれた企業もありますよ。

実

(ファインホワイ

るGHG可視化ソリューシたいと考え、日本でトップ質でのソリューションをや

シェア

ションをお客様へ提供

バー

心です

量なので持ち運びやすくす。また、重さは1.kg~

~9.9kgとどれも軽 心いただいていま で、カラーも含め

開支援、 $\lceil Zeroboard \rfloor$

力

ーシ

、ングシステム いjp)の中国屋

・国展

(zeroboard.jp)

ショ

・ンシステ

ノステム

「NRI-CTS」の販売も始めました。

ーソンが選ぶ

一台といえます。

多くのビジネ

併せて、

日本でも連携が進んでい

. る 日

炭素排出量の可視化サ

ービスの提供

産(中国)投資有限公司と共に、中国国産(中国)投資有限公司と共に、中国国産は電力不足、 が素削減の文脈で太陽光パネルの導入が 炭素削減の文脈で太陽光パネルの導入が 大大のでおりますが、ただ太陽光パネルを 進んでおりますが、ただ太陽光パネルを では電力不足、 を推進しています。中国では電力不足、 ではではなく、蓄電池・AIを

える課題で

る地球

のて目標を立いのために各 温暖化問

用した工場内のエネルギ入するだけではなく、蓄

ト 活 の 用

高度化推進を図ります

待を超えて、

感動のその

先へ

ITは進化し、お客様のニーズも 変化します。お客様のニーズの 半歩先を探して、次の時代に必 要とされる会社になりたいと 願っています。共にチャレンジす る仲間と知恵を出し合って、楽 しみながら取り組んでいます。 (図左:VAIO事業部 王克鋭部 長/図右:新規事業部 中川貴雅

て、2030年までにカーボンピークア国は、二酸化炭素の排出量の削減に向け当費国且つ二酸化炭素の排出国である中ち上げています。世界最大のエネルギーち上げています。世界最大のエネルギー国が脱炭素社会の実現に向けて目標を立国は、温室効果ガス排出削減のために各題は、温室効果がス排出削減のために各

ンニュー

トラルを実現することを目

た え 理 で、 で、 を を ケ

感動のその先へ~」へ一新しまし「超越期待・成就未来~期待を超・、創立20周年を迎えた弊社は企業

います。

中国から世

ある中でグロ

ウ

2060年までに実質的な力

一バル品質・日本品世界に輸出する製品にカーボンピークアに実質的なカーボークアでに実質的なカーボークアがあるとを目指しますることを目指します。



